

平成24年度第2回荒尾市民病院あり方検討会議事録要旨

◇日時：平成24年12月7日（金）14時から14時40分まで

◇場所：荒尾市役所 2階 市長公室

◇出席者：【あり方検討会委員】・・・4名

小野友道氏（熊本保健科学大学学長）、阪口峻一氏（荒尾市医師会会長）、鴻江圭子氏（市民代表）、立石和裕氏（立石公認会計士事務所代表）

欠席：生野繁子氏（九州看護福祉大学教授）、藤崎龍美氏（荒尾市社会福祉協議会会長）、下條寛二氏（株式会社 近代経営研究所専務取締役）、児玉修氏（有明保健所所長）

事務局：【荒尾市】・・・8名

山崎副市長、宮里総務部長、橋本財政課長、浅田政策企画課長、前田総務課長補佐、石川政策企画課長補佐、松尾財政係長、岩下参事

【荒尾市民病院】・・・7名

大嶋病院事業管理者、荒牧副院長兼事務部長、中野経営企画課長、野村総務課長、前田医事課長、江田医事係長、西山参事

以上、出席者計 19名

1. 開会

橋本財政課長が開会を宣言。

2. 会長挨拶

前回の検討会では、今年度の収支状況を含め、平成23年度の決算や中期経営計画の取組み状況について意見交換を行い、また立石委員からは、経営効率化の観点から計画の目標と決算結果を比較した分析結果を説明いただいたところである。

本日の検討会では、前回の議事録及び荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書について委員の方々のコンセンサスを得たものに仕上げたい。

3. 検討事項

(1) 第1回荒尾市民病院あり方検討会議事録要旨（案）について

岩下参事から、平成24年度第1回荒尾市民病院あり方検討会議事録要旨（案）について説明が行われ、全会一致で承認を得た。また、本議事録については、荒尾市ホームページにおいて公表を行うことについても、併せて承認された。

(2) 荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書（案）及び同資料（案）について

松尾財政係長から、荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書（案）に基づき、(1) 経営効率化の視点、(2) 再編・ネットワーク化の視点、(3) 経営形態の見直しの視点 (4) まとめ、について説明が行われた。

報告書（案）の内容は異議なく承認され、最終的には点検・評価報告書の語句や体裁については会長と事務局に一任することが併せて承認された。

4. その他

橋本財政課長から、今後の予定として、点検・評価報告書の最終原稿を再度委員に確認いただいた上で、年内に、あり方検討会を代表して小野会長と阪口副会長から、市長へ報告書を提出する旨を説明された。また、議事録や報告書については、荒尾市ホームページで公開を行う予定である。

山崎副市長：市民病院は平成13年度に一定の黒字を出したものの、過去には会計上の特殊要因もあったが、単年度で12億円もの赤字を出したこともある。平成18年度には総務省の経営アドバイザー制度を活用し多くのご意見をいただいた。それをもとに中期経営計画を作成し、経営健全化の進捗状況をチェックするものとしてあり方検討会が発足した。経営は安定してきたが、いまだ累積欠損金は30数億円あり、医師の確保を含めた収益構造の安定化が求められる。今後も委員の皆様のご意見を伺い、病院と市で協力して、市民の健康を守る、医療を守るために取り組んでいきたい。

大嶋事業管理者：本年度も2回にわたり、荒尾市民病院のあり方について様々な角度から議論いただいたところである。決算状況を見ると、全般的には順調に推移しているものと認識しているが、今後も気を引き締めながら各種課題の解決へ向けて取り組みたい。また、病院施設の建替えについても、本検討会の議論を通じて、市と連携しながら一歩ずつ前へ進めていきたいと考えている。今後も地域医療の発展のために、本検討会の意見を参考に、医療の質の向上と経営の安定化に努めていく。

5. 閉会

小野会長が14時40分に荒尾市民病院あり方検討会の閉会を宣した。

以上